

## 色々な国や地域の物語を読んで、紹介しよう

小学3年 国語  
「世界の物語を紹介しよう」  
資料の活用・読書指導

ねらい

- 「はりねずみと金貨」の物語で、あらすじのまとめ方を学習する。
- 友だちに自分で選んだ本のおもしろさを紹介する。

### 学習展開

- ① 世界地図で色々な国の位置や物語を確認して、読み聞かせやブックトークを聞き、興味をもつ。学習の見通しをもち、自分の学習課題をきめる。
- ② 「はりねずみと金貨」の物語で起こった出来事を場面ごとにまとめる。
- ③ 「はりねずみと金貨」の物語のおもしろさを伝える紹介文を書く。
- ④ 「はりねずみと金貨」で学んだあらすじのまとめ方をもとに、自分のおすすめの物語のあらすじをまとめて、友だちに紹介する。
- ⑤ 学習のまとめと振り返りをする。



学校図書館での導入

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、学校図書館に世界地図とお話の付箋を用意する。教室に児童分の物語を準備する。
- 司書教諭は、児童に紹介する国と物語を確認し、学級担任・学校司書と授業について打ち合わせをする。
- 司書教諭は、児童用ワークシートの用意をする。
- 司書教諭と学校司書は、あらすじのまとめ方について「桃太郎」やこれまでの学習記録を紹介する。実際に登場人物と出来事を条件つきで(30字以内や一文にまとめてなど)まとめる練習をして、児童に見通しをもたせる。



選んだ本を読む



### ★指導のポイント

- ◆ いつでも手に取って読めるよう、本を学級に貸し出す。

### 資料

『三年峠』『へらない稲たば』(朝鮮)、『ふしぎなしろねずみ』『とらとほしがき』(韓国)、『銀のうでわ』『ほしになつたりゅうのきば』(中国)、『星をもったひめ』(セルビア)、『はしれかぼちゃ』(ポルトガル)、『かもさんおとおり』(アメリカ)、『小さい魔女』(ドイツ)、『はなのすきなうし』(スペイン)、『ランパンパン』(インド)、『てぶくろ』(ウクライナ)、『きりのなかのはりねずみ』『金の魚』『マーシャとくま』(ロシア)